

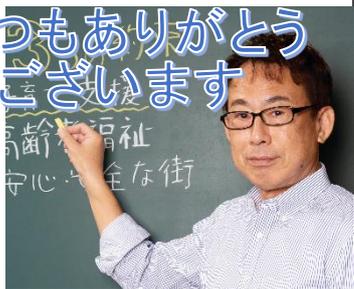
しんじ新聞



No. 722

2025年 5月
品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ

いつもありがとうございます
ごぞいます



※毎週、区政や区内の出来事についてご報告して居ます

☆☆品川区イス 722☆☆

◇プレミアム付区内共通商品券

区は、令和 7 年度もプレミアム付区内共通商品券を発行します。次のうち正しいものを選んで下さい。

- ①春は 6 億円発行。(※申し込みは終了)
- ②春はプレミアム率 10%。
- ③秋は、紙とデジタルの両方を発行する。
- ④秋は、当初予算では、紙、デジタルともに 4 億円発行予定。
- ⑤補正予算で、『秋は、紙・デジタルともに 6 億円の発行に。また、プレミアム率を 10%から 25%にする』と 5 月の臨時議会に提案予定。

◎難易度☆☆☆☆

7回でマスターする 令和 7 年度 予算特別委員会 質疑 ④ 第 4 回 歳出 衛生・産業経済費

☆衛生費⇒区民検診・健康・環境・ごみ処理等
産経費⇒観光、商工業振興策、消費者対策等

◎衛生費
169 億 1,745 万円
(歳出の 7.2%)

◎産経費
37 億 5,033 万円
(歳出の 1.6%)

Q: 《デジタル商品券》

- ①導入の目的は。
- ②導入の効果は。
- ③利便性について。
- ④売主側(商店等)の負担は。

品川区内

共通商品券
歓迎の店

- A: ①物価高騰の中で、区民の消費喚起を促す。デジタル商品券導入(秋)による商店街・個店の利便性向上、中小支援。区民の利便性の向上。
- ②紙の商品券は、40~60 代の利用が多かった。デジタルで若年層の利用の拡大を図る。(注: 昨年は 20 代の利用は約 4%)
- ③紙とデジタルの両方を実施する。商店街加盟店だけでなく、大手の店舗も利用できるように検討中。
- ④導入時の負担、事業者に払う手数料負担の軽減、換金(注: 決済後に)

令和 7 年度予算の審議(3 月)の一部を 719 号からご報告しています。今号は衛生費・産業経済費です。

注 意味が変わらないように私が質疑を要約等しています。

Q: 他議員の質問 A: 区側の答弁
☆: 私の考え ◎: 7 年度予算額
◇私の質問は後ほどまとめてご報告します。

お店に売上金が振り込まれるまで、約 1 ヶ月かかるといわれている)などの軽減を含めて事業者を選定する。デジタル商品券は、アプリの場合、Android と iPhone の両方でダウンロード可能なシステムを考えている。

◎プレミアム付区内共通商品券発行助成
1 億 7,165 万円(プレミアム率 10%:
春 6 億円、秋 4 億円発行)

デジタル商品券発行事業 8,289 万円
(プレミアム率 10% 秋 4 億円発行)

☆区は、秋の 4 億円を 6 億円に、プレミアム率 10%を 25%にする議案を 5 月臨時議会に提案する予定。

高橋しんじプロフィール

2023 年 5522 票のご支持を頂き、現在 5 期目。若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早実高、早大(政経学部政治学科 専攻は地方行政)・同大学院博士課程。東大研究員、塾などを経て、教師(早実高、都立日比谷高・青山高・大森高)。軟式野球ルーキーズ監督。2007 年初当選 2541 票、2011 年 5232 票。2015 年 5551 票。2019 年 6205 票(史上最多)。『議員力検定 1 級』合格。

☆初心を忘れずにがんばります!

しがらみのない無所属

高橋しんじ事務所

品川区東大井 4-13-11-304 〒140-0011
TEL:03-5461-8757 FAX:03-5461-8763
E-mail: takahashi-shinji@spa.nifty.com

ホームページ: 品川区 高橋しんじ 検索

- ☆過去の『区政報告』が HP でご覧になれます。
- ☆『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。
- ☆『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。



区政報告

No.722 2025年 5月



発行者 高橋慎司

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 4階

Tel 03-5742-6864

☆区政へのご要望をお寄せ下さい！！
☆ご希望の方に『区政報告』をお届けいたします(送料は当方で負担します)

Q:《宅配ボックス設置助成》
省エネルギー対策事業として、令和6
年9月からスタートした。経過は？



A:再配達を減らすことでトラックドライバーの方々の2024年問題の解消や再配達減少でCO2削減を目指した。58件の事前申請。過半数以上が集合住宅の申請。7年度も幅広く周知して拡大する。
◎561万円

Q:《5歳児検診》

7年度はモデル実施の事業開始となる。

- ①どのように実施するのか。
- ②健診結果の他の部署へのフィードバックは。

A:①公・私立保育園などのモデル園の4歳児クラス(年中クラス)園児(300人)の保護者及び所属園を対象に電子アンケート等でスクリーニングを実施。その結果に基づき、60人程度に保健センターで集団健診、相談などを行う。アンケートでは「落ち着きがない」など、園の関係者には「集団での立ち振る舞い」などを聞き取り、総合的な判定をして、健診につなげた方がいいお子さんをスクリーニングする。
②教育部門では、就学相談につなげる。保育部門では、就学までの1年間の保育につなげる。
◎643万円

クイズの答え：すべて正解。デジタル商品券の発行は、キャッシュレス決済に慣れている1層の獲得、商店街のデジタル化促進を目的としています。⑤区の補正予算は、5/27の区議会臨時会で審議されます。秋の商品券は、紙・デジタル両方があります。また、大型店でも利用できます。ぜひ、ご利用を！

キーワード

5歳児健診

乳幼児の健康診査(健診)は、4ヶ月児、6~7ヶ月児、9~10ヶ月児、1才6ヶ月児、3才児、6才児に実施していますが、小学校入学前に受ける「就学時健診」(6才児)まで、約3年の空白期間があります。5才児に実施することで就学時健診より早期に、発育状況や3歳以降に獲得する社会性の発達等を確認します。必要に応じて、サービスや支援につなげることにより、幼児の健やかな発達を確保するとともに、円滑な就学につなげることができます。国は、6年度の実施率14%を10年度までに100%を目指し、自治体に補助金を支給します。※品川区は実施していませんでした。



Q:《品川区の自殺の状況》

- ①区内の状況、課題は。
- ②20~30代の若い世代の自殺が増えている。品川区が行っているインターネットゲートキーパーの成果は。



A:①自殺率は、10万人当たり3年度11.5人、4年度12.5人、5年度16.5人と上昇している。原因の分析は難しい。不明が多いが5年間の経過は、家庭問題、健康問題がいつもかなり多い。次に生活困窮。男性では勤務問題が挙げられている。対策としては、何をやったら減減るかは、なかなか難しい。今やっていることを続けていく。
②3年から開始している。(インターネット検索連動広告を活用した相談支援事業は)5年に広告を表示した回数が96,649件。そのうち、クリック数は6,624件、クリック率は7%。相談まで至った方は74件。

◎自殺対策事業1,568万円

注 インターネット検索連動広告

検索エンジンの検索結果に広告を表示する。これを利用し、自殺関連語の検索をした人に対して相談を受ける旨の広告を出し、その上で相談をメールやチャット、通話などを介して受け、支援につなげる。むらじのゲートキーパー(命の門番)。

☆こころの不調に悩む区民やその家族が早期に相談ができる体制づくりの拡充を求めます。

朝、駅前にいます！

月・水 JR大井町駅前
火 京急青物横丁駅前
木 JR大森駅前
◎『区政報告』をお配りしています。金 京急立会川駅前
◎議会等の事情で変更する場合があります。◎見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい☆各7:00-9:30頃